

上京 史蹟と文化



美を語る

はこう ゆづいちろう
波光と西一郎

美術には一代限りのことがありますし、祖父、父、本人と、代々継がれることもあります。現代の画家たちにも、そういう境遇のこともあります。特に工芸技術は当り前のように継がれていますが、此頃は、「息子が継がない」「孫が継がない。」との歎きの声が、どの分野でも一般的となつています。これも、古いスタイルかと、しきりに思います。

めったにない例と思いますが、入江波光、西一郎は父子の日本画家です。入江波光はこのコラムでも取り上げましたが、明治四十二年（一九〇九年七月）開校の京都市立絵画専門学校に入学しました。本科の同級生は神原紫峰、神原春之助、松宮左京、村上華岳、星野空外、別科（技術を免除）からは小野竹橋（喬）、土田麦徳らが来しました。波光を加えても、わずか八人の卒業生でありました。教授陣は豪華で、京都市立美術工芸学校の教授竹内栖鳳、兼任教授は菊池芳文、谷口香崎、山元春拳、助教授には西山翠嶂、合田一峰。美学・美術史（新講座）は新進・留学組の東京帝国大学の若手教授中井宗太郎が任命されました。

中井宗太郎の影響は絶大で、その情熱ある熱弁は美術学校ばかりか、各塾生・先生たちにも拡がり、一種のモダンイズムは、京都画壇全般に滲透してゆきました。中でも、八人の卒業生は真面目で且つ勉強家でした。彼等は文展（文部省美術展覧会）に批判的な眼を持っていました。彼等は集まる度に、審査結果に不満を洩らしておりました。「シャノワール」



美術史家

加藤 類子

「ル・マスケ」など小集会・小展示を繰り返しましたが、自らの審査で、自らの展覧会を創ろうと、考えが一致してゆきました。主任教授の竹内栖鳳にも相談しましたが、栖鳳から賛意も得られて、大正七年（一九一八年）一月二〇日、念願の『国画創作協会』を創立しました。その発会式



入江波光「釣舟（風浪漁舟）」1939年 京都国立近代美術館蔵

には、生ルルモノハ芸術ナリ。機構に由ツテ成ルニアラズ（中略）と、格調高い宣言文を発表しました。鑑査員は竹内栖鳳、中井宗太郎が引き受けました。入江波光は国画創作協会の結成の時、偶々参加していませんが、翌年、公募の形で作品を出品し、審査を受けて入選を果たしました。その態度で判ることですが、波光は誠実に規則を守る人でした。上村松篁の学生時代の回想によれば、波光は作品の出来栄えは正

直に、厳しく指適し、有名人（松園）の子だからと言って、何の忖度もしなかつたようでした。また、学年末制作の際には、各教授が適切と思われる作品を取り出すことが普段のやり方ですが、波光先生は自分が不適切と思われる作品を裏返しされたと言います。松筆画伯の回想では、それが、多くの学生に受けていたと言います。余程信用されていた先生だったのでしょう。

大正十一年（一九二二年）、京都市の要請で、波光は中井宗太郎と共に欧州視察の旅に上ります。この前年、土田麦僊、小野竹喬も渡欧していただきます。足かけ三年に亘って、国展は休止状態となりました。公募展の性格上、由々しき事態だった筈です。その間、主要会員のうち華岳は体調を崩して、神戸・花隈に隠退します。紫峰も引退同様となりました。



入江波光 「振袖火事」 1913年 京都国立近代美術館蔵

国画創作協会は昭和三年（一九二八年）まで続きましたが、波光は模写と学校教育に忙殺されました。国展の「華の時代」は恐らく、関東大震災（一九二三年九月）以前の頃のことだったと思います。

西一郎の絵画専門学校在学は、太平洋戦争の直

前のことでした。まだ学校は形を整えており、授業も普段通り行われておりました。それが崩れたのは、昭和十九年（一九四四年）の学徒出陣、学徒勤労令でした。西一郎は召集されて、マレー半島に送られました。あの「白骨街道」を現出したインパール作戦のためでした。父波光は「西一郎はもう帰って来ないのではないか。」と洩らしたと言います。部隊の指揮官の機転で、幸いにも、

西一郎は帰って来ました。喜びも束の間、波光は癌に倒れました。壁画模写は完成寸前でした。帰って来た西一郎も、その事業に没頭しました。一九四九年（昭和二十四年）の早春、法隆寺壁画は失火によって焼失しました。波光は既に亡く、その点については、歎かずに済みました。しかし、喪失は誰にとっても悲劇でした。西一郎にとっても、同様でした。インパールの戦場のことと法隆寺焼失のことを、西一郎は決して口に出しませんでした。

最後に、少し四条派のことを語りたいと思います。江戸時代中期、円



入江西一郎 「ロバ」

山心^{やまこころ}拳^{こぶし}が円山派を創設して、写生画を広めました。それに、蕪村^{ぶらん}の俳諧と俳画・文人画の弟子であった呉春^{ごしゅん}が、より解り易い、抒情的^{じゆじやう}な要素を加えました。その派の画家たちは四条通を中心に居住していたことで、「四条派」と呼ばれます。応挙の固苦しい「円山派」に対して、「四条派」は多くの人々から、絶大な支持を得て、京都画壇は「四条派」一色になってしまいました。その系列が現在も続いております。明治以降、公私立の美術学校が創立され、海外美術の影響もあつて、院展も対抗勢力として大いに力を発揮しましたが、東京の絵と、どこか違つとの印象は、根強いものがあります。その大きな理由の一つは、「花鳥画」であることです。仏教美術の影響かどうかも判りませんが、発祥地は中国、多分、清朝末期の時代のことと思います。中国は宋・元時代から、花鳥画は盛^{さか}んでした。一見、仏教美術と見えても、格調ある宮廷絵画に見えても、子孫繁栄、家族安全、出世願望の思ひは、中国人にとつては永遠の願望ではないでしょうか。多くの国宝級の美術品も、元^{もと}をただせば、その願望が動機となつております。どこにも生える植物やどこにも居る鳥・虫・獣・魚らも、そのテーマとなつています。それを纏^{まと}めて、「花鳥画」と言います。

西一郎は父波光と同様、四条派即ち、花鳥画の竹内栖鳳に師事しました。西一郎の「花鳥画」は、「ちよつと他に類のない（故・河北倫明談）」花鳥画です。威厳に満ち溢い波光画に較^{くら}ぶべくも無いものです。ひとつこの海外を旅行されて、東南アジア、オセアニアの風物が描かれた時期もありました。熱帯花鳥に幻惑されたのでしょうか。一方、孤独なカンガルー、ライオンの雄、ロバなどを描いた作品は、画家の孤独な心情を想わせます。かつて個展の小冊子で、西一郎は「ロバ」について語られています。

「労働を強いらられるロバの目ははずはるい。顔をどんなに近づいても、

その表情は変わらない。何を思っているのか、何を見つめているのか、動くことのない目だけどこかを思うすばらしい光を見る。人を乗せ、重い荷物を背負わされて歩き出すロバは可愛そつで・・・春風にさそわれて歩き出すロバを画^かく。」

何と詩的な文章でしょう。「花鳥画」の表面はまったく違つことを描いています。日も月も花も、それをやさしく包んでいます。女の人も、花の化身のようです。どんな孤独な青年だったのでしょうか。何も語らない西一郎氏のカタルシスを想います。



入江西一郎 「月の夜」

お葬式 家族葬
公益社

本社 / 京都市中京区烏丸通六角上ル

☎ 0120-004-200 公益社 京都 🔍 検索

ブライツホール

北ブライツホール	[堀川紫明]
中央ブライツホール	[五条東山]
南ブライツホール	[油小路八条]
西ブライツホール	[五条西大路]
山科ブライツホール	[五条外環]
烏丸ブライツホール	[烏丸高辻]
向島宇治ブライツホール	[宇治檜島]
大津ブライツホール	[大津駅南]

ぶどうの 上京 その四

上京区内の辻子について

特定非営利活動法人

京都観光文化を考える会・都草

山本 喜康

京都の街は、平安京の条坊制以来、縦通り三十三、横通り三十九の七十二の大路・小路に始まり、時代を経るに従い人口も増し、街割の形状も変化してきました。

大内裏跡も内野と呼ばれ街路に区切られ、豊臣秀吉以降に大路・小路の間に縦横の通りが造られ、土地の有効利用が図られました。一条通以北に急速に道が拓けて行ったため、蜘蛛の巣状に細分化された通り・筋・横丁・小路が発展して行きました。それがいわゆる「辻子」といわれるものの起源です。通りから通りをつなぐ小路です。「図(圖)子」と表記されることもありすが、「辻子」を「づし」と読むのが困難なため、同意

義語として「図子」の字が宛てられたもので、「辻子」が本来の表記であるとするのが一般的です。

さて、日本家屋の伝統的な茅葺屋根の天井裏の空間を「つし」と言います。その「つし」の壁面構造は、竹組・木組から成る格子状で、縄絡みに造られています。また仏像や経典、大切なものを安置する棚を「厨子棚」といい、これも格子組になっていくものが多く、通りの「辻子」もこれらと同様で、図に表すと厨子棚のような図が出来上がります。つまり、「辻子」や「厨子」の語源は「つし」から生まれたと考えられます。「つし」という語も古くは清音で言っていたか、濁音で言っていたか分から

ず「づし」とも「つじ」とも読むことができず。

なお、「辻」は国字であり日本で生まれた字です。表形文字・表意文字としても大変良く出来た文字です。

こうして次第に出来てきた「辻子」は、その地の人々によって一番ふさわしい名を付けられ、親しまれるようになってゆきました。

辻子の名は、大体において地名・町名・寺名・人名等何らかの由来によるものが多く、意味深い命名が感じられます。また、その地域だけの固有の辻子の名であることを強調するように、必ず「○○の辻子」と表現し、間に「の」の字を入れます。

現在のところ上京区内には名前にして百二十二、場所にして九十一の「辻子」を確認しています。(別表参照)今回はその内、現在、辻子の名がそのまま町名・通り名になっている所を取り上げてみました。



西京白味噌。

本田味噌本店

<http://www.honda-miso.co.jp>



香木・薰香・匂香

山田松香木店

〒602-8014
京都府京都市上京区御所中小路町164
(堂町通下立売上ル)
TEL 075 4414694
FAX 075 441124



下ノ森通に残る
町名表示板

『相合の図子通』・『藍屋の辻子』
（相合の図子通・下ノ森通）

「相合」はこの通りの頭辺に古く遊郭があり相合の場であったことに因む。今では「下ノ森通」と呼ばれているが、筆者が幼い頃は、このあたりに住む者は皆「相合の辻子」と呼んでいた。通りを歩くと見かける古い森下仁丹の町名看板にも「相合ノ図子通」と表記されている。

「藍屋」は下立売辺に「藍屋」

『相合の辻子』・『藍屋の辻子』

（相合の図子通・下ノ森通）

辻子の名称	所在地	辻子の名称	所在地
1 藍屋の辻子・相合の辻子	相合の図子通 = 下ノ森通	47 地奥の辻子	今出川通 七本松東入突抜町
2 相の辻子	東今小路町	48 信楽の辻子	木下突抜町
3 安楽光院の辻子	安楽小路町	49 慈眼庵の辻子・じげな岩の辻子	慈眼庵町
4 いさとの辻子	伊佐町	50 地獄の辻子	真盛町西部
5 石屋の辻子	東石屋町・西石屋町	51 芝の辻子	芝之町
6 出雲(寺)の辻子	上御雲前通室町東入	52 寿量の辻子	末広町
7 一条殿の辻子・十乗坊(住持)の辻子・松並の辻子	一松町	53 聖護院(正後院・せいご院殿)の辻子	御所八幡町
8 狗の辻子	梅屋町	54 聖天の辻子	聖天町
9 今の辻子	今図子町	55 白梅の辻子・風の辻子	北之辺町
10 入江(殿)の辻子	上立先町	56 真盛の辻子	真盛町
11 裏の辻子	裏風呂町	57 主殿の辻子	御苑内
12 裏の辻子	西裏辻町	58 瑞龍寺の辻子	整門前町
13 浦の辻子	浦築地町	59 清次郎の辻子	筋違橋町・整社北半町
14 円覚寺の辻子	柳風呂町・下塔之段町	60 神明の辻子	上柳原町
15 狼の辻子	実相院町	61 宗忠の辻子	東西町
16 扇の辻子	扇町	62 道正の辻子	道正町
17 大峯の辻子	大峰図子町	63 常盤井の辻子	常盤井図子町
18 戒光寺の辻子	戒光寺町	64 百々の辻子	百々町
19 内堅の辻子・大谷入の辻子	猪熊通 出水上々蛸子町	65 島屋の辻子・藤松(御)の辻子	島屋町
20 花山の辻子	姥ヶ榎木町	66 富田の辻子	整富田町
21 賈世伊(がんせい・かせがせいの)の辻子	岩橋院町	67 鍋屋の辻子	室町通 今出川上ノ西入辺
22 片岡の辻子	岡松町	68 野山の辻子	三軒町
23 刀の辻子	一条殿町	69 島山殿の辻子	島山町
24 狩野(殿)の辻子	元図子町	70 瓢箪の辻子	瓢箪図子町
25 鹿ノ子屋の辻子	新美濃部町	71 風呂の辻子	裏風呂町
26 かまがの辻子	北野右近の馬場辺	72 法華寺(堂)の辻子	南町(天神筋)
27 川勝の辻子	室町頭辺	73 本阿弥の辻子・実相院の辻子	実相院町
28 歡喜寺の辻子	鶴山町	74 樹形堂屋の辻子	三栄町
29 菅所の辻子	川瀬町	75 又の辻子	一番町
30 親世の辻子・親屋の辻子	親屋町	76 又之辻子	東今小路町・末之口町
31 久壽の辻子	島中町	77 味噌屋の辻子	西北小路町
32 国松の辻子	整富田町	78 水落の辻子・地蔵の辻子・蒼箱の辻子	水落町
33 後藤の辻子	下木下町	79 無学(覚)の辻子	下柳原南半町
34 草堂の辻子	草堂仲之町	80 元誓願寺の辻子	東町・仲之町・西町・頭町間
35 近衛の辻子	弁財天町	81 曼陀羅の辻子	曼陀羅町
36 近衛殿の辻子	近衛殿北口町	82 紋屋の辻子	紋屋町
37 御領の辻子・御料人の辻子・中御雲の辻子	中御雲図子町	83 柳之辻子	柳図子町
38 だいうす(大字須・大白・徒斯)の辻子	整富田町	84 藪の辻子	四番町
39 大聖寺殿の辻子	毘沙門町	85 藪の下辻子	片原町
40 竹屋の辻子	竹屋町	86 山名(殿)の辻子	山名町
41 橋の辻子	観三橋町	87 鐘の辻子	御苑内北西部
42 定家の辻子・殿下の辻子	東上善寺町	88 燈の辻子	玄武町
43 天神の辻子	下天神町	89 本満寺の辻子	鶴山町
44 桜井の辻子	桜井町	90 清法院の辻子	一条殿町
45 三大夫の辻子	滝ヶ鼻町	91 所司代の辻子	丸太町 竹屋町間の堀川通より西に上所司代・下所司代があった時の間の通り
46 三田屋の辻子・三大夫の辻子	三助町		

※筆者が古地図などをもとに独自に調査したもの

があつたからという説もあるが、詳細は不明。「あいあい」が「あいや」と訛つたものかもしれない。

『今の辻子』(今図子町)

(新町通室町通間今出川下る)

今出川通へ出る辻子というところから付けられたか、又は「今」には「新」の意味があり、新しく出来た辻子という意か。元龜二年(一五七二)『上下京御膳方御月賄米寄帳』、天保二年(一八三二)『改正京町絵図細見大成』に記載がある。

『大峯の辻子』(大峰図子町)

(西洞院通武者小路一条間)



大峯寺跡に残る石塔
(普段は扉を開けていない)

慶長年間(一五九六)まで、このあたり一帯を大峰野といい、大峰寺という寺もあった。三条天皇の中宮、藤原研子はこの地で茶毘に付された。(本誌51号参照)

京都の住まい探しはお任せください。

お客様の笑顔が、私たちの喜びです。

株式会社 フラットエージェンシー



賃貸住宅



不動産売買



資産活用



管理



テナント



マンション



建築・リフォーム



TAMARIBA



元図子町(狩野(殿)の辻子)



中御霊図子町(同志社大生が行き交う)

『狩野(殿)の辻子』(元図子町)
(元誓願寺通新町西入る)
現在も通り中程北側に狩野
元信邸跡を示す石碑が建つて
いる。



常盤井図子町



柳図子町

元信は狩野派の祖・正信の
長男で、後年、法眼(ほふげん)(仏教におけ
る僧位のひとつ)に叙せられ、大
仙院方丈障壁画として描かれた
『四季花鳥図』や、東京国立博物
館所蔵の『禅宗祖師図』など、現
存する作品のほとんどが重要文化
財に指定されている。狩野派の基
礎を築いたと言われており、元信
の指導を受けた孫・永徳が、のち
に上杉本『洛中洛外図屏風』を描
くこととなった。墓所は上御霊前
通小川東入の妙覚寺にあり、元信
ほか、永徳や重信など、狩野一族

が眠っている。

『御領の辻子』・『御料人の辻子』・
『中御霊の辻子』(中御霊図子町)
(新町通今出川一丁上る東入る)

一つの辻子に複数の名のある辻
子が何ヶ所かあるうちのひとつ。近
衛家の領地であったことによる
名。※諸説あり。「御霊神社の旧
地だった」とする説もある。

『常盤井の辻子』(常盤井図子町)
(新町通小川通間武者小路上る)
後柏原天皇の甥、常盤井宮の邸
宅があったことからの名。常盤井

宮家は、鎌倉時代から室町
時代にかけて存在した宮
家で、このあたりに邸宅が
あったことは、上杉本『洛
中洛外図屏風』にも示され
ている。

『瓢箪の辻子』(瓢箪図子町)
(室町通新町通間上立売下る)
室町幕府の花の御所の跡に
拓かれた街。名の由来は不明
ながら、地形説、地割説など
が考えられる。

『柳の辻子』(柳図子町)

(烏丸通上立売上る西入る)
室町小学校南側

『太平記』の中に、「柳が辻」とい
う地名があり、それがこの辺だと
いう説と、宝曆町鑑(まつかみ)に「柳の水」と
いう名水があったという説がある。

現在でも市中を往来していて、
名があったかどうか不明ながら辻
子形態の街筋によく出合います。



柔道圓心道場
〒602-0014
京都市上京区室町通寺之内上ル下柳原北半町 210
TEL (075) 441-1968 / FAX (075) 441-2972
山崎接骨院
〒602-0898
京都市上京区烏丸通寺之内西上ル相国寺西門前町 647
TEL (075) 451-6050 / FAX (075) 451-6051
<http://www.enshin.sakura.ne.jp/>

新・古茶道美術品
清昌堂
やました
京都店・京都市上京区小川通寺ノ内上ル
〒602-0061 TEL (075) 431-1366
FAX (075) 431-1370
東京店・東京都新宿区市谷甲良町1-8
〒162-0856 TEL (03) 5261-4566
FAX (03) 3235-5677

上京の歳時記

「涅槃会」と「涅槃図」

京都産業大学 日本文化研究所

上席特別客員研究員 小嶋 一郎

仏の教えを説かれたお釈迦さんが、この世から旅立たれたことを「涅槃」と呼んでいます。古代インドの言葉では「ニル・バーナ」といい、その意味は「火を吹き消すこと」。この言葉が漢訳されて「涅槃」となったといわれています。数あるお経の中に「涅槃経」があり、これはお釈迦さんが、涅槃に入る直前に語ったとされる内容を記したものと伝わりま

す。奈良斑鳩の法隆寺に「玉虫厨子」と呼ばれる国宝が守られてきました。宝物館でご覧頂けるその厨子の四面にそれぞれ、別々の物語が絵で表現されており、その一面に「施身聞偈図」が描かれています。これはお釈迦さんの前世の物語で、遠い昔、雪の積もるヒマラヤ山中で修業をしていた童子がいたといえます。厳しい修行に励んでいた童子の耳に、どこからか「諸行無常、是生滅法」と聞こえてきます。その声の主が羅刹(鬼神)であることを知りながら、臆することなく「その続きをお聴かせ願いたい。」と所望しますが、羅刹は「長らく何も食べていないので、お前の血と肉と引き換えなら、おしえてやろう。」と返します。真理を知るためならば、命も惜しくないと考えた童子はためらいもなくこの要求をのみまじした。そして羅刹は「生滅滅為、寂滅為楽。」と続きの言葉を誦しました。その深遠なる教えに触れ

た童子は「諸行無常 是生滅法 生滅滅為 寂滅為楽」と岩肌に書き記した後、約束通り羅刹に身を捧げるため、高い岩場から身を投げました。すると羅刹はその身を帝釈天に戻して、俄に飛び立ち、谷底に落下する童子を危機一髪救い上げます。帝釈天はその身を羅刹に代えて、真理を求めて修行をする童子の覚悟を知りたかったのでしよう。帝釈天が雪山で出逢ったこの童子こそがその後、輪廻転生(何度か生まれ変わり)を繰り返して、今から二千五百年程前に誕生したお釈迦さんだったので。 「諸行無常 是生滅法 生滅滅為 寂滅為楽」という言葉は、後の「いろは歌」のルーツとも考えられています。「色は匂えど散りぬるを 我が世たれそ 常ならむ有為の奥山 今日越えて 浅き夢じ 酔いもせず」。「諸行無常」とは「この世には永遠に続くものなど無い」。「是生滅法」とは「生きていくものは必ず滅する 是こそが理である」。「生滅滅為 寂滅為楽」は生きる滅するというこの

理を受け入れて理解することこそが真の安楽に通じるのである。このような訳し方もあり、その中でキーワードが冒頭の「諸行無常」とかと私は思います。

涅槃会とはお釈迦さんを偲び、説かれた「諸行無常」以下の言葉の本当の意味を噛みしめるために縁ある人々が集う日でもあるのです。お釈迦さんが旅立たれたのは2月15日とされていますが、太陽暦に合わせて3月15日頃に「涅槃会」が行われている寺院も多いです。

京都市内には多くの寺院があり、2月～4月には涅槃会の期間中、多くの涅槃図を拝ませて頂く機会が多々あります。特に上京区には、個性的な涅槃図も世に知られ、区民のみならず遠方からはるばるこの時期に参拝・拝観に来られる方も多いようです。

まずは、本法寺所蔵「佛涅槃図(重文)」です。長谷川等伯が息子、久蔵の七回忌に手掛けた巨大な涅槃図で、吊るした時の高さは約10m、幅は6m程もあります。現在

の宝物館が1階と2階の吹抜け式になっていて、この大きな涅槃図の御開帳を考へてのことらしいです。普段は複製が吊るされていますが、3月14日から4月15日まで約1か月間、ロングランの特別御開帳です。涅槃を迎える穏やかなお釈迦さんのお顔が印象的で、集まった動物達にも個性派が描かれています。それは「犬」で、当時はまだ一般的では無かった「ポインター」や「コリー」とみられる洋犬が描かれています。長谷川等伯は能登出身の絵師ですが、堺出身の千利休らと親交があったためでしょうか、自治都市として南蛮とも交易のあった堺の町で見かけたであろう珍しい外国の犬を描いたのでしょう。

また掛軸の左中程に、作者で



佛涅槃図(本法寺)

ある自分の姿を比丘びくの一人として、人知れず目立たないように描き入れたとされています。横たわる釈尊を自分の息子、久蔵になぞらえ、涅槃の時に立ち会えなかつた後悔の念をその距離感で表現しているのか？或いはスペインの宮廷絵師ベラスケスの絵でも見られるように、西洋諸国のお抱え絵師が時折、作者自身の姿を画中に描くことを、南蛮人から聞いてその手法を試したのか？実際にこの大涅槃図を目の当たりにした時、等伯自身とみられる人物にも眼を向けてみてはいかがでしょうか。

次に、清浄華院所蔵の「大涅槃図」です。節分大祭（2月3日）から涅槃会（清浄華院では）、2月14日まで、大殿内で御開帳となります。今から三百有余年前の正徳3年（1713）海北友賢かほほうとよけんの筆によるものです。横に臥せながらも、まるで直立する仏像のように美しく描かれたお釈迦さんを中心に、涅槃に集まった数多くの生物



大涅槃図(大本山清浄華院)

が描かれています。清浄華院の涅槃図で特筆すべきは、海に棲む生物が描かれていることです。画面右下には海面と思しき水が大きく描かれ、鯨が泳ぎ、蛸が跳ね、鯛など魚類が顔を出し、陸地には海老や蟹、貝類が精緻に描かれています。釈尊が涅槃を迎えたクシナガラという所は、大きな川は流れていたものの、海からは遠い筈なのですが、海に棲む生き物たちも涅槃に立ち会うために遙々やってきたという思いを、絵師は描きたくったのかも知れません。また画面の上部には他の涅槃図には無いほど、鳥類が数多く描かれています。



紀元前3000年頃。パンのシンボルが描かれ、食料配給の割り当てが記録されている。

和光印刷株式会社

〒602-0012 京都・烏丸通上御霊前上ル TEL.075-441-5408(代)

E-mail:info@wako-print.co.jp



京都人さえもが恋するホテル。

BRIGHTON
KYOTO

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売(御所西)
TEL.075-441-4411 (代) FAX.075-431-2360
<http://www.brightonhotels.co.jp/kyoto/>

ます。仏国浄土にしかないとい
う「迦陵頻伽」をはじめ、孔雀や燕、
鴛鴦など、鳥類図鑑を髣髴とさせ
るほど多種多彩です。もう一点特
徴を挙げますと、お馴染みの動物
達が極めて写實的に描かれている
点です。中でも虎や猪など体毛の
多い動物の毛並みが特に緻密に描
かれています。後に活躍する伊藤
若冲にも大きな影響を与えたとも
考えられるほどの描写力です。ま
た清浄華院には、日本に初めて象
がやってきた時（1729）に、
境内が象の宿舎になったという記
録が残っています。絵師の意図で
はありませんが、涅槃図に描かれ
た個性的な象に、仏縁で引き寄せ
られるかのように本物の象がやつ
てきたのかも知れませんか。

そして最後は、大報恩寺所蔵の
涅槃図です。「千本釈迦堂」の通
称名でしられるこの寺院では、3
月22日の「釈迦遺教経会」の日に
本堂内で修される法要と共に江戸
時代の涅槃図が御開帳となりま
す。涅槃図の作者は、箱書きによ
りますと、江戸時代中期の町絵師、

岡本次郎右衛門で享保16年（17
31）作です。この涅槃図の特徴
は、涅槃に駆けつけようとする摩
耶夫人が飛来する様子を、まるで
時間が止まったように描いている
点です。天人一行の飛来の様子が
描かれていること自体は涅槃図で
は、そう珍しくは無いのですが、
清浄華院の涅槃図では、今まさに
涅槃に駆けつけようとしていると
ころをスピード感溢れるタツチで
描いていたのに対し、大報恩寺の
涅槃図では、どうやら入滅の瞬間
に間に合わなかったためでしょう
か？天人一行の駆けつけようとし
ている動きが無く、そのために間
合わなかった悲しみの念が表現さ
れているように思いま

す。天人一行の中心で
ある摩耶夫人はお釈迦
さんの生みの母で、出
産直後に無くなってし
まい、天界に召されま
したので、まだうら若
き天女の姿で上空から
雲に乗って飛来する場
面として描かれていま

す。この際に摩耶夫人ら天人の一
行を釈尊の元に導こうとする阿那
律という十大弟子のひとり描か
れている場合と、そうでない場合
があります。大報恩寺や清浄華
院の涅槃図では描かれています。
棚引く雲の拡がり方や、沙羅双樹
（2本×4方向）の配置の仕方も
美しく、涅槃図としての基本を忠
実に守りながらも、全体的にデザ
インと構図のまとまりを意識した
絵といえるでしょう。また「千本
の釈迦念仏」として徒然草にも記
された法要は「大原声明千本式」
と呼ばれ、独特の節回しや発音が
耳に心地よく、大報恩寺を開いた
義空上人の弟子、第2世如輪上人

が始めたとされています。八百年
近くも続く「南無釈迦牟尼仏」と
いう声明が、西陣の千本釈迦堂
に響き渡る頃、境内のおかめ桜枝
（垂桜）の蕾も大きく膨らみ始め、
そろそろ綻びようとしています。

底冷えに外出も控えがちになる
この時期ですが、涅槃会や涅槃図
の御開帳に、心躍らせながら過ご
してまいりますと、やがて春を感じ
させる兆しが見える季節へと移
り、上京の町中は桜の咲く百花繚
乱のシーズンへと移ろいます。ま
るで自らの涅槃を教えの手段と
して、「全てのものは常では無い。
ましてや生を受けた人は必ず終わ
りを迎える。自分とて例外ではな

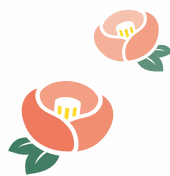
い。しかし残し
た教えや生き様
はしっかりと次
の世代に伝わっ
ていく。」ことを、
涅槃会法要と涅
槃図に込められ
た教えから実感
する季節です。



涅槃図(大報恩寺)

新上京の昔ばなし

椿と梅



千宗旦とツバキ

ツバキは冬を象徴する花。茶道でも炉の時期の代表とされるが、枝から散る様は首が落ちる瞬間を連想させるとして武士には忌み嫌われた。本誌49号「千宗旦とキツネ」に紹介した千宗旦（1578—1658）には、ツバキの花にまつわる逸話も残る。

選り抜いた妙蓮寺椿が

※本誌表紙写真 妙蓮寺椿

ある時、宗旦と親しくしていた正安寺（現在、この名称の寺院は京都市内には見当たらないが）の和尚は、境内に美しく咲いた妙蓮寺椿から選り抜いた一枝一輪を「ツバキの花はもろくて落ちやすいから、心して持って行くように」と、宗旦の庵に小僧を遣わせることと

りをうけることやら」

落ちたツバキの花を拾い上げ、花のない枝に充てがったが元に戻るわけがない。しくじりを悔やみ悩みながら、涙を浮かべて歩いている内に庵の前まで来てしまった。小僧はビクビクしながらも意を決して宗旦を訪ねる。

「実は、和尚様からこのツバキの花を宗旦様に届けるように言われたのですが、途中で落としてしまいまして申しわけありません」と失敗を詫びたところ、宗旦は粗相をとがめるのではなく、枝とツバキの花を受け取り「よう正直に話してくれましたな。わざわざ届けてくれてありがたい。まあ、涙を拭いて、一服あがっていきなされ」とお遣いのお礼を言い、「しばらく待っていなさい」の言葉を残して姿を消した。

今しがた落ちたように

しばらくの時間が経ち、顔と手を洗って小僧が「今日庵」の茶席



ぼたん鍋と京料理

元祖 畑かき

京・上御霊前烏丸西

☎〇七五・四四・〇六一〇(代)

京都に生まれて五世紀



虎 トラヤ

www.toraya-group.co.jp

に坐ると、先ほど持ってきた枝と花が目飛び込んできた。「うっん、これは」。宗旦はそれまで壁床に掛

かっていた掛け物を外して、床柱に祖父利休形見の竹花入「園城寺」をしつらえて枝を投げ入れ、その下の畳に直接ツバキの花を置いて、まさに今しがた落ちたように見立てて、薄茶を振る舞った。そして、「ご苦労様でした」と、労をねぎらって帰したという。

「宗旦の相手を大切にしている心の表れ。ピクピクしている小僧の気持ちをすつぽりと包んだ。とがめない心は、まさにすべてを受け入れることのできる開かれた心と言える」

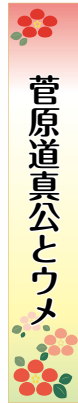
「小僧は宗旦の懐の深さを感じたことだろう」

「花の落ちた枝、枝から散った花は何の価値もないはず。それを活かして愛でた宗旦の感性と機転。わび茶の精神が感じられる」

この逸話は古くから茶人に語り継がれ、茶の湯に深く傾倒した幕末の大老井伊直弼（1815—6

0）も、『閑夜茶話』の14話「千家」に記している。

（福井和雄）



春の到来告げるウメ

冬を象徴する花がツバキなら、春の到来を告げる花がウメ。その梅の花をこよなく好んだのが平安時代の政治家・文人の菅原道真公（845—903）。醍醐天皇の御代に右大臣として国家の政務を統括したが、左大臣藤原時平の讒言



国宝御本殿前の飛梅「紅和魂梅」

によって太宰権帥として筑紫国大宰府に左遷され、延喜3年2月25日（旧暦）に波乱の生涯を閉じた。

梅の花を愛した菅公が左遷されるまで住んでいた屋敷・紅梅殿から大宰府に向けて出発しようとした時、庭の紅梅を眺めて詠んだ和歌が「東風吹かば 匂ひおこせよ

梅の花 主なしとて 春をわするな」。東風が吹いたら、芳しい花を咲かせてくれ梅の木よ、主（私）菅公が居ないからと言って、春が来たことを忘れてはならない——という意味で、住み慣れた紅梅殿を去るにあたって懐かしさの余り心なき草木にも契りを結ばれた菅公の悲嘆な心境が思われる。

伝説によると、この梅は大宰府まで飛んで行ったと言われ、飛梅と呼ばれている。飛梅伝説は承久元年（1219）成立の国宝「北野天神縁起絵巻・承久本」にあるのが最古といわれ、その後「十訓抄」や「古今著聞集」などの説話集にも取り上げられて、巷間



三光門と白梅

よく知られるようになった。この飛梅が種となる梅は、現在北野天満宮の本殿前に植わる飛梅「紅和魂梅」であり、毎年三月には美しい紅梅の花を咲かせている。

菅公の死後、平安京では雷、大火、疫病などの天変地異が続発、延長8年（930）の清涼殿落雷事件では菅公左遷に関わった藤原清貫らが亡くなり、醍醐天皇も3ヵ月後に崩御した。これは「菅公の怨霊が雷神となり、雷を操ったため」と恐れられた。その祟りを鎮めるため天曆元年（947）、朝廷によつ

て平安京の北西（天門）にあたる聖地・北野に菅公を祀る社殿が造営されたのが北野天満宮のはじまりである。「天神」の名は一條天皇により菅公に贈られた御神号「北野天満大自在天神」に由来し、やがて「天神様」として、学問をはじめ芸能・農耕・厄除・至誠の神として親しまれ、北野を中心に天神信仰は全国に伝播していくのである。

小枝を挿したお供え

菅公の祥月命日にあたる2月25日に、御祭神の御遺徳を偲び、北野天満宮が毎年斎行する梅花祭。境内では豊臣秀吉公が天正15年（1587）に北野大茶湯を催した故事に因んで野点の茶会が開かれ、多くの参詣者で賑わっている。古くは鳥羽天皇の天仁2年（1109）に開催された記録が残っており、900年余りの歴史を持つ伝統行事である。

当日、神前には「梅花の御供」



新春の参詣者

と呼ばれる特殊神饌が献じられる。

これは、菅公自らが大宰府で彫り上げた木像を、京都に持ち帰って西ノ京北町に祠を建てお祀りした「神人」と呼ばれた人たちの末裔で作る「七保会」の会員が、前日から精進潔斎して、白米四斗を蒸して大小二つの台に盛った「大飯」「小飯」と、男女の厄年に因んで白梅42本、紅梅33本の小枝を挿した「紙立」（仙花紙を筒状にして、底に小さな土器を敷いて玄米をいれたもの）を調製して、神前にお供え

するものである。この玄米をご飯に炊き込むと災難・厄除け・無病息災になると言われ、1月25日の「初天神」から授与されている。

「梅花の御供」については、古くは「御神霊を宥める」と音が通じることから、菜種の花を供える「菜種御供」と称していたが、新暦に変わった明治時代に菜種に変わって梅花を用いたことから「梅花の御供」と呼ばれるようになった。

（北野天満宮）



梅花祭特殊神饌

京都市指定

水を大切に・・・（24時間・年中無休）



水道・下水道修繕工事(空調)・井戸ポンプ設備・建物リフォーム

大西工業株式会社

〒602-8072 京・上京区中長者町通新町西入 TEL.(075)451-3123 FAX.(075)432-2874

0120-350672

消防設備全般

秋の「上京茶会」が昨年11月19日、「おりべ寺」として知られる興聖寺において、裏千家の懸釜により開催されました。時折小雨も降るなど寒い気候でしたが、ご来場の方が途切れることのない大盛況となりました。

茶室では古田織部の木像に見守られ、皆様、深まる秋を感じながらの一服を楽しまれました。



上京区民ふれあいまつり2017

「上京区民ふれあいまつり2017」が、昨年10月29日に新町小学校で開催されました。雨の中の開催でしたが、各学区や団体による模擬店やあそびコーナー等は多くの区民でにぎわいました。



「上京茶会」

上京区人権月間バスツアー

昨年12月26日、岡山県瀬戸内市にある国立ハンセン病療養所長島愛生園の見学を行いました。大学生を中心とした参加者は、ハンセン病についての説明を受け、当時の資料を見たり現状を知ること、改めて人権問題について考えるきっかけとなりました。



「みんなで花を咲かそう」活動

昨年11月4日、ボランティアの皆さんによって、庁舎前のプランターの斉植替え作業が行われました。

夏に目を楽しませてくれたハイビスカスに代わり植えられたのは、小さなガーデンシクラメンやパンジー、葉の形が可愛いモミジバゼラニウムです。庁舎前を彩る愛らしくも美しい花たちを、ぜひ、ご覧になってください。



「上京新能」

第53回上京新能が昨年9月21日に白峯神宮で開催されました。当日は天候に恵まれ、三年ぶりの屋外での上演とあって、多くの来場者が幽玄の世界に魅了されました。





レストラン
Blanc Vert
ブラン・ヴェール

レストランブラン・ヴェール

☎ 075 (414) 9881

【Lunch】

- ◆日替わりランチ(月～土) ¥1,000
- ◆ランチセット ¥1,200～

【Dinner】

- ◆シェフおすすめコース ¥3,300
- ◆フレンチスタイルのコース ¥3,300
- ◆イタリアンテイストのコース ¥3,300

ルビノ京都堀川

〒602-0850 京都市上京区堀川下ル比叡町15番1号 TEL:075(424)1111 Fax:075(424)1110

京都駅前南門ビル3F

鑑定書不要!

ダイヤモンド&宝石各種、絶賛高価買取中!

宝石・貴金属の鑑定は、**FGA(英国宝石学協会)**
認定資格者が行いますので鑑定書は不要です。

宝飾・時計

ブランドバッグ

美術品・書画・骨董

YOROZUYA 四条店

ドライブスルー質屋 加藤商店グループ

(株)よろず屋 四条店 『楽天市場』にも出店中

京都市中京区東洞院通四条上ル「大丸京都店」北隣

TEL.075-241-7900

◎営業時間/買取 10:00→19:30

販売 11:00→19:30

年中無休

〈本店〉創業70年

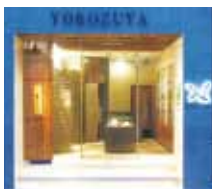
京都市上京区烏丸通今出川下ル(地下鉄今出川駅すぐ)

☎ 0120-25-0700

◎営業時間/11:00→19:00(土曜日は18:00迄)

◎定休日/日・祝 ◎駐車場10台完備

京都 よろず屋 検索 京都 加藤商店 検索



地下鉄「四条駅」阪急「烏丸駅」20番出口すぐ

関西テレビ放送

よーいどん!のコーナー

「となりの人間国宝さん」

で紹介されました。

「上京・史蹟と文化」は上京区役所地域力推進室まちづくり推進担当で販売致しております。(TEL441-5040)
また、上京区役所のホームページで御覧いただけます。



- 神学部
- 文学部
- 社会学部
- 法学部
- 経済学部
- 商学部
- 政策学部
- 文化情報学部
- 理工学部
- 生命医科学部
- スポーツ健康科学部
- 心理学部
- グローバル・コミュニケーション学部
- グローバル地域文化学部



Doshisha University
同志社大学

http://www.doshisha.ac.jp/

お問合せ先 同志社大学 広報部 広報課 TEL:(075)251-3120

酢一筋の商い、伝統の滋味。

きろう あしたへ
伝統から未来へ
京・西陣 孝太郎の酢
(有)林孝太郎造酢

京都市上京区新町寺ノ内上ル東入道正町455

TEL (075) 451-2071

FAX (075) 451-8028



創立以来八十年にわたって、和やかな家庭的な雰囲気にも包まれつつ就学前教育の本流をめぐして、保育を続けて参りました。幼児たちは楽しい遊びを通して、人生に必要な生きる力のすべてを手に入れます。

学校法人 **北野幼稚園**

京都市上京区御前通一条下る (北野天満宮バス停下車南100m)

TEL.463-0111(代)

http://www.kitano.ed.jp/



名物ゆどうふ
南禅寺 JUNSEI

左京区南禅寺門前 電話 075-761-2311

http://www.to-fu.co.jp



発展、ともに前へ… 洛和会丸太町病院

洛和会ヘルスケアシステム®

京都市中京区七本松丸太町上ル

救急対応

24時間365日

内科・外科救急

内科／呼吸器内科／
消化器内科／心臓内科／
神経内科／外科／
整形外科／形成外科／
皮膚科／泌尿器科／
耳鼻咽喉科／麻酔科／
リハビリテーション科／
内分泌糖尿病内科／救急科

耳鼻科救急

月～金 午後7時～
午後11時

救急・急患には24時間体制で対応しています。

洛和会丸太町病院へのお問い合わせは **TEL 075(801)0351(代)**



M
MALEBRANCHE
京都 北山

洋菓子

マールブランシュ 京都 北山本店

〒603-8053 京都市北区北山通植物園北門前
TEL (075)722-3399・FAX (075)702-9440
9:00AM-8:00PM 年中無休(喫茶10:00AM-8:00PM)
www.malebranche.co.jp

ご注文専用 **0120-139-399**
フリーダイヤル 受付時間 9:00～18:00 [日曜日定休]

京都御所近くの 運送屋です。

＼こんな運べますか？／

いつでもご相談お待ちしております。

引越サービス

重要書類の安全なリサイクル処分

ダイレクトメール(DM)・メール便配達

旅行カバン・手荷物配達

固定先ルート配送・トラックチャーター 他



株式会社デリバリーサービス

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上る大文字町 238

TEL 075-211-6541 FAX 075-211-6875

http://www.delivery-service.jp